

復興推進委員会 現地調査について

宮城県における現地調査

実施日 : 平成26年9月3日
訪問先 : 宮城県 石巻市、塩竈市、仙台市
参加者 : 伊藤委員長、大山委員、白根委員、達増委員、中田委員、松原委員
行程 :

【9月3日(水)】

○石巻市

・現地視察(石巻市水産物地方卸売市場
先導モデル事業「最先端水産業モデル都市形成プロジェクト」)

○塩竈市

・現地視察(伊保石(いぼいし)地区 復興公営住宅)

○仙台市

・意見交換(六丁目農園(株式会社アップルファーム))

○仙台市

・現地視察(株式会社みちさき)

○仙台市

・現地視察(東北大学 株式会社 TBA「Tohoku Bio-Array Corporation」)

主な内容:

- ・ 石巻市においては、市水産物地方卸売市場にて、放射能検査の様態を視察するとともに、魚の水揚げから、魚のサイズごとの選別、車に載せて出荷、という効率的な導線、及び衛生管理を視察。
- ・ 塩竈市においては、伊保石(いぼいし)地区復興公営住宅 における周辺地区と結ぶ歩行者ネットワークの整備状況や、地域に開かれた集会所・公園などを視察。
- ・ 仙台市においては、六丁目農園 で、震災時に緊急避難場所として開放した経緯や、多くのスタッフが障害者であり、彼らの自立支援も目指しているとの説明があった。株式会社みちさき においては、ほうれん草の養液栽培の様態を視察するとともに、従来の年3~4回から、年20回の収穫が可能になった等の説明を受けた。東北大学では、遺伝子検索ツールを開発・製造・販売する「株式会社 TBA」の取組について説明を受けた。

岩手県における現地調査について

実施日 : 平成26年9月30日～10月1日

訪問先 : 岩手県宮古市、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市

参加者 : 伊藤委員長(釜石魚市場まで)、秋山委員(福幸きらり商店街まで)、岩
淵委員、中田委員、松原委員

行 程 :

【9月30日(火)】

○宮古市

・現地視察・意見交換(共和水産株式会社)

○大槌町

・意見交換(大槌町地域支援員配置事業。大槌仮設団地にて)

・現地視察(大槌町大ケロ1丁目町営住宅)

・意見交換(先導モデル事業「大槌まちゼミプロジェクト」。福幸きらり商店街にて)

【10月1日(水)】

○釜石市

・現地視察(釜石魚市場、公共ふ頭、湾口防波堤)

○大船渡市

・意見交換(有限会社 三陸とれたて市場

先導モデル事業「浜の未利用資源は高機能性食品へプロジェクト」)

・現地視察(リマテック東北(株) 先導モデル事業「海と山と人をつなぐ地域

再生可能エネルギーシステム・大船渡PJ」)

○陸前高田市

・現地視察(キャピタルホテル1000)

・現地視察(きのこのSATO株式会社)

・現地視察(道の駅タピック45)

主な内容:

- ・ **宮古市**では、共和水産株式会社にて、震災後4社で結成された「チーム漁火」の販路の共有などの取組について説明を受け、意見交換。
- ・ **大槌町**では、大槌仮設団地にて社会福祉協議会より、生活支援相談員の活動状況・課題、見守り事業等に関する現状と課題について説明を受け、意見交換。大槌町大ケロ1丁目町営住宅では、高齢者に配慮した低層住宅、歩行者と居住者の交流を促す住宅設計等、復興交付金を用いた公営住宅の状況を視察した。また、大槌まちゼミでは、既存の商業・事業者、NPO法人、町からなる支援組織のスタッフから、大槌のような地方小都市でも可能な若者の事業・活動の支援について説明を受けた。
- ・ **釜石市**では、釜石魚市場で市場の復興状況について説明をうけた後、船で 公共ふ頭、湾口防波堤を視察。

- 大船渡市では、有限会社三陸とれたて市場で、未利用魚介類、地元漁師料理を世界に売り込むべく、最新の冷凍技術 CAS を用いたプロジェクトの説明を受けた。リマテック東北株式会社では、食品廃棄物、ふん尿、下水汚泥からメタンガスを発生させる施設を見学し、説明を受けた。
- 陸前高田市では、キャピタルホテル 1000において、高台移転によるホテル再興までの経緯、地元食材にこだわった料理提供など、今後の戦略について説明を受けた。きのこのSATO株式会社では、地元三陸産のわかめの茎や牡蠣の殻等から菌床を作るなど、高付加価値キノコ栽培を視察した。道の駅タピック45では、震災前から現状までの復興状況のパネルを視察し、説明を受けた。また、車中より復興工事の土砂を搬出する巨大ベルトコンベアを見た。

福島県における現地調査について

実施日 : 平成26年10月28日

訪問先 : 福島県田村市、大熊町、富岡町、双葉郡、いわき市

参加者 : 伊藤委員長、秋山委員、岩淵委員、菊池委員、白根委員、中田委員、
松原委員

行 程 :

【10月28日(火)】

○田村市

・現地視察(都路地区(仮設商店街Domoにて下車視察))

○大熊町

・現地視察(大熊町大川原)

○富岡町

・現地視察(常磐線富岡駅)

○双葉郡

・現地視察(Jヴィレッジ)

○いわき市

・現地視察(小名浜魚市場)

主な内容:

- ・ **田村市**では、住民の買い物の場として田村市が開設し、地元の5事業関係者が運営する 都路地区の商業施設「Domo(ど～も)」を視察。
- ・ **大熊町** 大川原地区の拠点整備地では、復興拠点の最前線としてコンパクトな市街地を創出すること等につき、市街地の模型を用いて説明を受けた。併せて、隣接地で東電が建設中の福島第一原子力発電所向け給食センターを車中より視察。
- ・ **富岡町**(常磐線富岡駅)では、通行が自由になった国道6号線沿線を視察。加えてJR富岡駅前において、復興に向けた町のビジョンや課題等につき説明を受けた。
- ・ **双葉郡**の Jヴィレッジでは、福島第一原子力発電所に向かう作業員の最前線基地となっている現状を視察。
- ・ **いわき市**の 小名浜魚市場では、旧市場の現状と試験操業について説明を受け、最新の検査機器による水産物の放射能検査のデモを視察。新魚市場の建設・整備状況を車中から視察。